



心の故郷我が母校 同窓会員の皆様へ



同窓会長 福島昭子 (S26卒)

同窓会長の福島でございます。同窓会代々の皆様方が連綿として築いてこられた歴史と伝統を大切に努めさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

母校松本美須々ヶ丘高校は明治42年に松本女子職業学校の創立に始まり、統合、校名の変更などの変遷を経て卒業生は3万人余を数え、平成21年には創立百周年を迎えます。

記念事業を成功させるために実行委員会も組織され様々な準備に取り組み始めています。会員の皆様には実りある記念事業になりますよう物心両面のご協力をよろしくお願い致します。

ここに同窓会報第2号が発刊される運びとなりました。創刊号は平成16年3月で、活動や情報提供も遅々としておりますが、百周年の歴史と伝統を誇りとして同窓生の心の故郷になるような人間味あふれる同窓会にして行かなければならないと考えています。それには会員相互の絆を育む拠点である「同窓会館」が必要ではないでしょうか。百周年を契機に何とか建設の夢が叶いますことを願ひ検討を重ねている段階です。

また同窓会の母体の組織財政強化を図るため、漸く平成17年度総会にて年会費制を取り入れ、年会費2,000円が承認されました。併せて定期的な会報の発行、ホームページの開設などを企画しています。どうぞ活動財源確保にご理解とご協力をお願い致します。

加えて時代背景を踏まえた新しい取り組みとして、生徒、同窓会員、地域住民の連携による学力の向上、社会性の涵養、人生観の深化等を目的とする「美須々ヶ丘セミナー」を昨年スタート致しました。

嬉しいことは在校生の吹奏楽部が全国大会3年連続出場という快挙を成し遂げ、母校に錦を飾ってくれ伝統に更なる輝きを増して頂いたことです。後輩は頑張っています。母校の誇りとして感謝とエールを贈らせて頂きます。微力ではございますが母校松本美須々ヶ丘高校の益々のご発展と、在校生が誇り頼れる同窓会になります様会員の皆様と共に精一杯努めさせて頂きますのでご指導ご協力を重ねてお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

第2号 2006.5.1

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校
同窓会

〒390-8602
長野県松本市美須々2-1

会員数
30,453 人

在校生
862 人
(男411、女451)

平成18年4月6日現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校

時を越えて、つながる

校長 橋詰 治明



同窓会長様をはじめ、同窓会員の皆様方には、教育振興と在校生の激励のために、平素から格段のご後援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は不十分な点もありますが、クラブ活動や学習面においてもそれぞれの結果があったと感じております。特に吹奏楽部の全国大会への出場、野球部の夏の大会での活躍など、クラブが盛んな進学校としての特色が出せたと思います。これも支えていただいた同窓会の皆様方のお陰と感謝申し上げます。また、本年度は「美須々ヶ丘セミナー」発足の年となり、井出孫六さんをお迎えした講演会、準備・計画・当日の運営まで大変お世話になりました。大勢の参加があったことは、地域との結びつきのある高校としての存在意義が高められたと重ねて感謝を申し上げます次第です。

さて、本校は間もなく創立百周年を迎えます。九十数年の星霜は、校舎の壁をくすませ、ゆつくりと流れた時をそこに刻み、また美須々ヶ丘の木々を見違えるほどに成長させま

した。木々が創る森は本校のシンボルともなり、季節季節に移り変わる緑は心を和ませてくれます。森の中にはかつての定時制や家政女学校の記念碑があり、同窓生の皆さんの思い出がこの森には色濃く残っています。巣立った卒業生は、県内はもとより広く全国あるいは海外で、活躍されているとお聞きしますが、何れの方々も母校をどこか心の片隅に置きながら、日々活躍されていると拝察致しております。

本校は今日の美須々に至るまでに近隣の高等学校とは異なった歴史的な背景をもっている訳ですが、そのことは本校同窓会の財産であり、発展の土壌となるものと思っております。平成二十一年には創立百周年を迎えることとなります。どんな遺産を次に残さなければならぬか、じっくり考えなければならぬことだと思ひます。

同窓会の益々の発展を祈念して、ご挨拶と致します。



事業にむけて

実行委員長あいさつ



創立百周年記念事業実行委員会

委員長 山 元 秀 泰 (S47卒)

同窓会諸兄におかれましては、ご健勝にてご活躍の事とご推察申し上げます。

さて、ご承知のように母校は、平成21年に創立百周年を迎えます。3万人を超える同窓生の皆様と共に大きな節目を迎え、新たななる母校の未来を、関係者各位と共に祝いし企画を推進する為に実行委員会が昨年発足いたしました。浅学非才且つ若輩の私が実行委員長に任せられました。諸先輩方が築き上げて来られた母校の歴史を鑑み身の縮む思いですが、福島同窓会長はじめ実行委員会の皆様と共に精一杯努めさせていただきます。しかし、当然の事ながら、私はもとより実行委員の皆様だけでは成功させることはできません。お一人でも多くの皆様のご意見ご協力ご支援を切にお願い申し上げます。

実行委員会は現在、総務・記念誌・学校整備・記念催事・財務・ビジョン等各委員会が立ち上がり、各委員長さんを中心に百周年に寄せる思いを語り合っていたりしながら、準備を進めております。年度代表実行委員の皆様からも各年代層のご意見を頂戴しております。

今ひとつ一体感を実感でき得なかった同窓生の、学校や同窓会に寄せる思いを、どう受け止めどのように百周年の中で具現化できるのか、大きな課題であります。広範なご議論やご提言をお願い申し上げます。そして、同窓会として、最も後輩である在校生の皆さんと共に知恵を出し合い、生徒の皆さんの心の支えになれる、そのきっかけになる周年になればと願っています。

学校長はじめ歴代・現職の先生方、現役生徒の皆さん、歴代・現職のPTAの皆様、地域で支えていただいています地域の皆さん、そして百年の歴史を創ってこられた同窓生の皆さんと共に、老若男女の想い、百年の歴史の中で変遷した校名や役割など様々な想いや存在を凝縮し、力と気持ちを合わせ、一人一人の感動が大きな感動となって未来に繋げる周年にして参りたいと思います。また、各位から頂戴いたしましたご寄付などのご芳志も、各位の意に沿えるよう大切に運用してまいりたいと思います。

皆様の協力ご支援を重ねてお願い申し上げます。

第一回

役員総会報告

平成十七年十月一日母校小体育館にて創立百周年記念事業実行委員会第一回役員総会が開催され、約八十名の役員の皆様にお集まりいただきました。

役員紹介の後、各組織代表のご挨拶をいただき、続いて実行委員長より同窓会・PTA・学校の代表からなる準備委員会の発足から、本日の実行委員会立ち上げまでの経過の説明があり、了承していただきました。

引き続き総務・記念誌・学校整備・記念催事・財務の五つの委員会は会場を普通教室に移し、各委員会の正副委員長・事務局を決め、今後の活動についての話し合いを持ちました。また同時に小体育館では、年度別代表実行委員会が開かれ、お一人ずつマイクを回し、往時を振り返りながら百周年に向けての思いを語っていただきました。

再び全体会が持たれ、各委員会からの報告のほか、銭坂明尚・井口善高両元会長から七十五周年の時の取り組みの様子をお話いただき「多くの方々の協力が大切だ」と呼びかけていただきました。最後に「当時の校歌として歌っていたものと、今見る校歌は違うもの。是非みんなで佐藤春夫作詞の校歌を歌ってほしい」という声が上がりました。

久し振りに訪れた母校で往時を懐かしく語り合う姿、学校整備の必要を訴える声、百周年に向けての力強い思いなどを、秋のキャンパスに見ることができました。年代を超え最後に校歌の大合唱ができたのにも「みずずのこころ」を感じました。

別欄に実行委員会の規約・役員名簿・スケジュールを掲載いたします。ご意見ご要望などございましたら事務局へお寄せください。今後の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(事務局)

創立百周年記念事業

スケジュール(予定)

平成17・10・1

第1回実行委員会 役員総会

平成18・9

三役会

正副委員長会・ビジョン委員会
各小委員会(事業検討)

平成18・9

役員総会

(コンセプト・事業内容提示)

平成19・2

各委員会からの予算の概算要求
とすり合わせ

寄付金予定額提示(財務委員会)

平成20・9

役員総会(全計画案の承認)

平成21

記念式典

平成22・2

役員総会

(事業報告・決算報告 委員会解散)

平成22・5・6

学校・PTA総会・同窓会総会
において終了報告

長野県松本美須々ヶ丘高等学校創立百周年記念事業実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は長野県松本美須々ヶ丘高等学校創立百周年記念事業実行委員会と称し、本会の事務局は、長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会事務局内に置く。

(目的)

第2条 本会は、松本美須々ヶ丘高等学校の創立百周年を祝すとともに、輝かしい歴史と伝統が継承されている本校の新たな発展を期して、記念事業を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 松本美須々ヶ丘高等学校の教育環境の充実と良き校風を促進するための事業
(2) 地域と交流し、地域に感謝し、広く地域社会に奉仕する事業
(3) 本校関係者相互の親睦を図る事業
(4) その他前条の目的を達成するために必要な事業

(構成)

第4条 本会は、次の組織等を構成母体として組織する。
(1) 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
(2) 松本美須々ヶ丘高等学校PTA
(3) 松本美須々ヶ丘高等学校の教職員
(4) 松本美須々ヶ丘高等学校生徒会

(その他)

(5) その他本会の趣旨に賛同する個人及び団体

(組織代表者の責務)

第5条 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会長、松本美須々ヶ丘高等学校PTA会長及び松本美須々ヶ丘高等学校校長は、本会の構成母体の代表者として、記念事業の実施に關し必要な助言及び支援を行う。

(小委員会)

第6条 本会に次の小委員会を置く。
総務委員会、記念誌委員会、学校整備委員会、記念催事委員会、財務委員会
2 前項の小委員会は次に掲げる業務を行う。
(1) 総務委員会
予算及び決算、記念式典・祝賀会、広報・宣伝等に関すること並びに他の小委員会に属さない事項
(2) 記念誌委員会
記念誌の編纂、発刊、販売計画に関すること
(3) 学校整備委員会
本校の教育環境等の整備に關すること
(4) 記念催事委員会
記念催事の企画及び運営に關すること
(5) 財務委員会
募金活動の企画等に關すること

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。
(1) 組織代表者 3名

(任務)

第9条 実行委員長は本会を代表し、会務を統括する。

(任期)

第8条 前条の役員の任期は本会の解散の時までとする。ただし、学校職員及びPTA推薦者に異動があった場合は改めて委嘱するものとする。

(三役会等)

第11条 本会の円滑な運営を図るため、組織代表者、実行委員長、副実行委員長、小委員会正副委員長等で構成する三役会、正副委員長会を随時開催する。
2 前項の会議は実行委員長が招集する。なお、会議の運営等に関し必要な事項は実行委員長が別に定める。

(補則)

第14条 (生徒の参加)
本規約に定めない事項については、第5条に規定する組織の長と実行委員長が協議して定めるものとする。

(施行日)

この規約は、平成16年6月26日から施行する。
(最終改正 平成17年9月4日)

(同窓会長、PTA会長、学校長)

(2) 実行委員長 1名
(3) 副実行委員長 若干名
(内1名を実行委員長の代行とする。)

(4) 顧問・参予 若干名
(5) 事務局次長 1名
(6) 事務局員 2名
(7) 事務局長 若干名
(8) 会計 若干名
(9) 監事 若干名
(10) 年度代表実行委員 各年度毎に若干名

2 実行委員長及び副実行委員長は、第4条に掲げるそれぞれの組織が推薦し、実行委員長は被推薦者の互選により選任する。
3 その他の役員は、第4条に掲げるそれぞれの組織が推薦し、実行委員長が委嘱する。

(役員総会)

第10条 役員総会は本会の最高決定機関であり、第7条第1項及び第4項に規定する役員をもって構成する。
2 役員総会は実行委員長が招集する。なお、会議の運営等に関し必要な事項は実行委員長が別に定める。
3 役員総会は記念事業の実施に係る重要事項について議決する。

3 役員総会に必要事項は実行委員長が別に定める。
役員総会の議決を要する重要事項を除き、本会の業務は三役会の議を経て執行する。

(経理)

第12条 本会の事業に要する経費は、構成母体からの拠出金、賛同者からの寄付金及びその他の収入で賄うものとする。

(会計年度)

第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

[illegible]

2005年度

クラブ活動 新人戦成績 (県大会以上)

サッカー

1回戦

2回戦

3回戦

4回戦

美須々 VS 上田染谷丘
4 - 1美須々 VS 飯田
3 - 0美須々 VS 赤穂
0 - 1

サッカー選手権大会長野県大会ベスト16

1回戦

2回戦

準々決勝

準決勝

美須々 VS 佐久長聖
4 - 0美須々 VS 伊那北
3 - 1美須々 VS 上田西
1 - 0美須々 VS 岡谷東
0 - 1

新人戦ベスト4 (3位)

男子バスケット

1回戦

2回戦

美須々 VS 飯田
78 - 64美須々 VS 佐久長聖
73 - 83

ベスト16

男子ハンドボール

1回戦

美須々 VS 坂城
18 - 24

ベスト8

男子卓球

学校対抗

美須々 3-0 白田

美須々 2-3 長野商業

県ベスト16

女子バスケット

1回戦

2回戦

美須々 VS 伊那弥生
48 - 42美須々 VS 佐久長聖
14 - 104

ベスト16

女子ハンドボール

1回戦

美須々 VS 野沢北
15 - 14準決勝
美須々 VS 野沢南
12 - 7決勝
美須々 VS 屋代
7 - 29

陸上

個人 男子走高跳 8位
個人 男子走幅跳 5位
個人 男子走幅跳 8位
個人 男子三段跳 5位
個人 男子やり投げ 3位

3位以内
北信越大会進出

なぎなた

団体
個人

試合競技で県1位

全国選抜大会
初戦敗退

北信越大会
美須々 VS 小松市立
4 - 24

県2位北信越大会進出

女子卓球

学校対抗

女子ソフトテニス

団体

男子ソフトテニス

団体 個人

女子バドミントン

学校対抗

剣道

団体
個人初戦敗退
初戦敗退

男子弓道

団体 初戦敗退

女子弓道

団体 初戦敗退

文化系クラブの主な成績

吹奏楽部

大会名

東海地区大会

全日本吹奏楽コンクール

3年連続全国大会

成績等

金賞

銀賞

放送部

部門

高校生交通安全CM コンテスト

高等学校ラジオ作品コンクール

SBC 杯長野県高校新人放送コンテスト

成績等

ラジオ部門：グランプリ (最優秀)

テレビ部門：敢闘賞

優秀賞

◎ビデオメッセージ部門：優秀賞

○オーディオビジュアル部門：優秀賞

朗読部門：奨励賞

○アナウンス部門：優良賞

書道部

県展 金賞2・銀賞1・入選3

◎印全国総合文化祭へ ○印北信越選抜大会へ

来年度は「3出」のため、連盟規定でコンクールそのものに出場できませんが、そのような年だからこそ、お世話になっている同窓会ははじめ地域の皆さんや保護者の皆さんに恩返しできる活動ができるのではないかと、心新たに張り切っています。

これからも、本校吹奏楽部の応援をどうぞよろしくお願い致します。

本校吹奏楽部は、8月28日(日)に開催された東海吹奏楽コンクールで6年連続の金賞を受賞、3年連続して全国大会へ出場し銀賞を受賞するという快挙を成し遂げました。これは、長野県では初の出来事で、2005年松本市の10大ニュースの一つにもなりました。

吹奏楽部の全国大会出場に關しまして、PTA・同窓会・地域の方々、OBの皆さんから物心両面の本当に心温まるご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

平成17年度
第53回全日本吹奏楽コンクール

課題曲：サンライズマーチ (佐藤俊介)

自由曲：交響曲第5番より第Ⅱ、Ⅳ楽章 (M. アーノルド)



『美須ヶ丘セミナー』
スタート

松本美須々ヶ丘高校同窓会
平成17年度 役員

役職	氏名	卒年
昭	子本熹	26
昭	子矩二	28
昭	泰史	38
昭	稔夫	38
昭	高八	26
昭	明彦	28
昭	子二	42
昭	好宏生	47
昭	雄学	54
昭	享衣	頭 30
昭	子典	校長 48
昭	孝博	38
昭	弘實	61
昭	郎亨	52
昭	春美	事務長 42
昭	明夫	42
昭	和子	52
昭		2
昭		22
昭		34
昭		38
昭		38
昭		39
昭		41
昭		43
昭		44
昭		45
昭		46
昭		49
昭		53
昭		54
昭		55
昭		55
事務局長	夫治仁	52
常任理事	樹子旭樹	61
常任理事		7
常任理事		2
常任理事		43
常任理事		12
常任理事		10

お知らせ

最近「人事新報社」という会社から同窓生に対して「松本美須々ヶ丘高等学校同窓名鑑」というタイトルの往復葉書が送られてきており、その対応について同窓生の方々から学校事務局や同窓会事務局に問い合わせが多数寄せられておりますが、本件に関しましては下記の通りです。

1. 返信用の右側中段にゴシック体にて「本書の出版は、学校・同窓会との関係はございません」と記載されている通り、本校同窓会とは全く関係がございません。
2. 現在、本校同窓会はこのような葉書による個人情報への調査は行っておりません。

同窓会ホームページ開設のお知らせ

百周年記念に向けて同窓会ホームページを下記のアドレスの通り開設しました。
同窓会活動の様子を知る情報交換の場として有効活用して下さい。是非、ホームページへのご意見・ご感想・掲載依頼などをメールにてお知らせ下さい。皆さんのご意見を参考によりよいものを作っていこうと考えています。

URL : <http://www.mcci.or.jp/www/misuzu100/> e-mail : misuzu100@po.mcci.or.jp

会員の皆様におかれましては、
我、美須々々丘高校同窓会、美
須々々丘高校発展のためご理解・
ご支援ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。何卒百周年にむけま
して宜しくお願い申し上げます。

を持って取り組んでおります。

「美須々らしさ」とは何か、「美須々の心」とは何か、真の同窓会のあり方とは何か、百周年はゴールではなくスタートであると、模索しながら進んでおります。

百周年を迎えるにあたり「今まで元氣のない」同窓会でありましたが、「元氣のある」同窓生が「元氣の出る」同窓会を目指し立ちあげ、同窓会を確実に変えようとしております。こころざしを同じくする者が相集い力を合わせ情熱

今号では、この二年間に決まりました新同窓会長はじめ、百周年記念事業実行委員長、役員、実行委員、募金芳名録等、創立百周年記念事業にむけて具体的に、着実に動き出した同窓会の現状を会員の皆様に報告させて頂き、更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成16年3月に創刊号発行以来、約二年間かかりましたが、同窓会事務局並びに関係の皆様のおかげで第2号を発行することができました。

同窓会会報委員会委員長
須澤 稔
(昭和54年卒)

後記

お詫びと訂正について

同窓会会報創刊号の中の創立百周年記念事業
募金趣意書の中で四点のお詫びと訂正をさせ
ていただきます。

- 1、学校の変遷の中に「松本市立中学校」名を落してしまいました。先輩の皆様方にはとても寂しく悲しいお気持ちにさせてしまい、本当に申し訳なく深くお詫び申し上げます。
- 2、この趣意書に沿い、多くの会員の皆様方より多額な募金をいただきました。しかしながら、同時に「同窓会会員名簿」の注文の案内が重なり、募金と名簿購入代金との振込み方がはつきりせず、多くの混乱を招いてしまいました。お詫び申し上げます。
- 3、「募金の領収書」についてですが、まだ領収書は発行しておりません。減免手続きが終了次第領収書をお送りさせていただきます。なお、減免申請手続きの諸条件が難しく、許可をいただくまでには至っておりません。実行委員会が計画

4、事業内容について六項目が明記されておりますが、創刊号を早く出したい、百周年記念事業を会員の皆様方に早くご理解いただきたい、という思いが先立ち、記念事業実行委員会の発足がなされないうちで明記をしてしまいました。この事業内容が予想される内容としてご理解いただきました、訂正をさせていただきます。今後実行委員会及び各委員会 で十分な議論の上決定してまいります。

以上、初めての会報発行という不慣れさ、百周年記念事業に対する思い、スタッフの不足等で会員の皆様方に大変なご心配とご迷惑をお掛けしてしまいました。改めてお詫び申し上げます。どうか我が母校の為、そして会員の発展を願い、お許しと今後のご協力をお願い申し上げます。

平成18年度 定期総会のご案内

日時 平成18年6月17日（土）午後：総会・懇親会（開始時刻等詳細未定）
場所 長野県護国神社「美須々会館」（松本市美須々6-1 0263-32-1979）

定期総会は毎年6月第3土曜日に開かれます。2年前から懇親会の運営を55歳学年が主幹事、45歳学年が副幹事として担当しています。地元で音楽活動を続けているバンドの演奏や応援団のエールの披露など、盛り上がる企画で演出していただきました。講演会や恩師を囲む会など幹事学年のユニークな企画を今後も期待します。今年は昭和44年卒業学年と昭和54年卒業学年が当番幹事学年となります。該当学年の皆様はもちろん、多くの皆様のご参加をいただき、百周年に向け、往時を懐かしみ、母校の将来について大いに語る機会としていただければ幸いです。